

# CONTENTS

発刊にあたって	5
前田芳信	

執筆者一覧	8
-------	---

## 1章 総論

1 矯正歯科治療と咬合 Q&A	
達成すべき適正な咬合は存在するのか？ それが長期に安定するといえるのか？	12
前田早智子／前田芳信	
2 顎関節症との関連から矯正歯科治療と咬合について考える	32
古谷野 潔／大木郷資／桑鶴利香	

## 2章 矯正歯科医の視点からの咬合論： 咬合と矯正歯科治療，私はこう考える

1 重度の顎関節症症例への矯正および補綴治療の1症例	42
筒井照子／筒井祐介	
2 矯正歯科における咬合	58
宇津照久	
3 矯正歯科治療がめざす咬合にヒントとなる 8020達成者の咬合の観察より	80
茂木悦子	
4 「下顎位の安定を図る」 —咬合治療におけるその重要性—	94
足立 敏	
5 MRIを用いた機能的安定位における咬合再構成	116
渋澤龍之	

# 咬合 YEARBOOK 2018/2019

## 3章 一般歯科臨床医の視点からの咬合論： 咬合と矯正歯科治療，私はこう考える

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| 1 | 矯正歯科治療とのインターディシプリナリー<br>山崎長郎                 | 130 |
| 2 | 包括的治療を必要とする難症例へのアプローチ<br>大谷 昌                | 140 |
| 3 | 咬合再構成に包括歯科治療を融合させた咬合論<br>佐分利清信               | 162 |
| 4 | 顎頭位を考慮する矯正歯科治療から咬合再構成を考える<br>荒谷昌利            | 178 |
| 5 | 変化に寛容な矯正治療の咬合と厳格な補綴治療の咬合の<br>調和を目指して<br>綿引淳一 | 190 |